

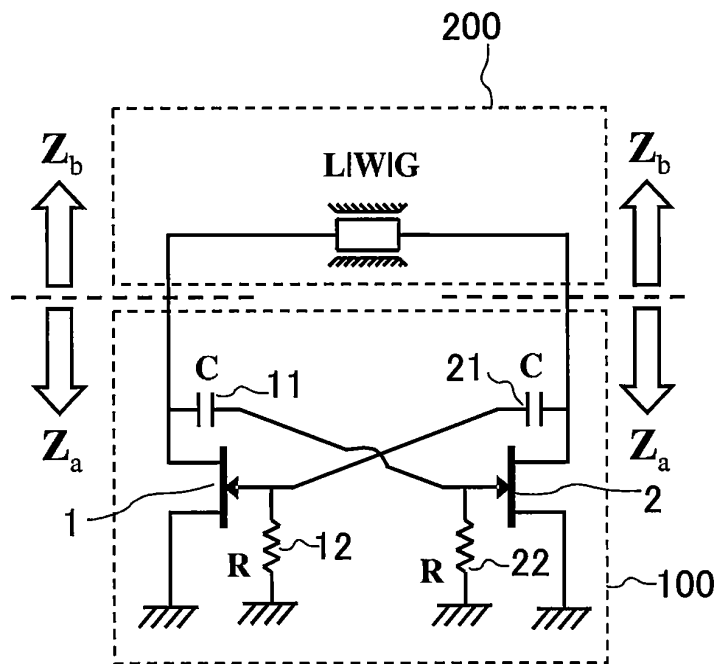
技術の名称

発振回路

適用分野

超高周波(マイクロ波、ミリ波)帯における発振回路

- 目的 負性抵抗を示す帯域を広くして使用できる発振周波数の帯域を広くする。
- 効果 本発明によれば、発振部が所定の周波数から負性抵抗を示すようになり、その負性抵抗にフラットな領域が存在するので、負性抵抗を示す帯域が広くなり、使用できる発振周波数の帯域を広くすることができる。
- 技術概要 相互接続された一対のトランジスタ1、2と抵抗12、22とコンデンサ11、21とで構成された発振部100並びにその発振部100に接続された共振部200とを主構成要素とし、抵抗12、22の抵抗値とコンデンサ11、21の容量を発振部100が所定の周波数帯で負性抵抗となり、その周波数帯より高い周波数帯においてフラットな負性抵抗を示すように設定されている。
- 特記事項、
図など



- 主たる提供特許 特許等の名称 : 発振回路装置
登録番号 :
出願番号 : 特願2008-151350 出願日 : 平成20年 6月10日
公開番号 :
- 実施実績 有、○無 ■ 提供形態 ○実施許諾、×権利譲渡

お問合せ先

株式会社 国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 経営統括部 知的財産チーム
〒619-0288 京都「けいはんな学研都市」光台二丁目2番地2
TEL 0774-95-2521 E-mail ; patent@atr.jp